

城山エコミュージアム通信

平成26年(2014)3.15 第19号



エコミュージアムとは、エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)の造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。

城山湖ふもとの美しい梅林・本沢梅園と周辺の山々



満開の本沢梅園

城山湖のふもとにある本沢梅園をご存知ですか?この梅園は、昭和39年の発電所建設(城山湖)で発生した土を用いて、当時谷戸だったこの場所を埋め立て、約3ヘクタールの敷地を造成し、ここにおよそ1,000本の梅(白加賀)を植栽しました。毎年、3月には見事な花を咲かせます。その時期に併せて「本沢梅園まつり」が行なわれ、園内が一般開放されて多くの人で賑わいます。また6月には来園者が自ら実を収穫できる梅のもぎ取りがあり、近隣からもたくさんの方が訪れます。

この梅園は川尻財産区が管理しています。美しい梅園を楽しんでいただくために、病害虫の駆除や下草刈り、施肥、剪定など年間を通して、川尻地区内の7つの造林組合(都畑、谷ヶ原、向原、原宿、町屋、小松、城北 組合員数150名)の皆さんに作業をお願いし、多くの人達が汗を流しています。川尻財産区は、梅園を含めこの地域に約76ヘクタールの土地を所有していますが、そのほとんどが山林です。毎年、2月~3月にかけて間伐や枝打ちなど行ない山林を整備しています。この土地は地域の共有財産です。作業は造林組合と協議し、分担して行なっていますがメンバーの高齢化と共に年々作業が厳しい状況になっています。

今年の本沢梅園まつりは、3月15日(土)、16日(日)に開催します。当日は、地元団体の特産品の販売や、地元のおはやし演奏等も予定しています。ご来場をお待ちしています。

地域紹介

本沢梅園と周辺の山々

おはなし ごんのかみ しるろ 権守 史郎さん

(相模原市川尻財産区議会副議長)



昨年の本沢梅園まつりはミウルも登場

本沢梅園一般開放

日時:平成26年3月8日(土)~23日(日)
午前9時30分~午後3時30分

本沢梅園まつり

日時:平成26年3月15日(土)~16日(日)
午前10時~午後3時



今回のトピック 地域紹介 いよいよ満開「本沢梅園と周辺の山々」、 城山検定「つるし飾り」、 市文化財展出展報告、城山探訪『卯歳の御開帳』等

活動レポート

はじめまして、南区！ 第39回 相模原市文化財展 に出展 ～ 城山エコミュージアムツアーを紹介～

平成26年2月14日(金)～16日(日)南区相模大野ポーノ相模大野内ユニコムプラザさがみはらにて開催された相模原市文化財展へ出展しました。今年で3回目の参加。城山エコミュージアムの展示テーマは昨年に引き続き「城山エコミュージアムの活動紹介」。おもな展示内容は「エコミュージアムツアーの紹介」として、今まで開催したツアーの紹介、事例として今年度ツアー内容を取り上げ展示しました。



発表の様子

今回は、参加団体として麻布大学や相模女子大学からの参加もあり、学生達の若い息吹を感じながら、和やかな雰囲気の中で展示発表することができました。記録的積雪の中、多くのお客様が来場されました。ご来場ありがとうございました。



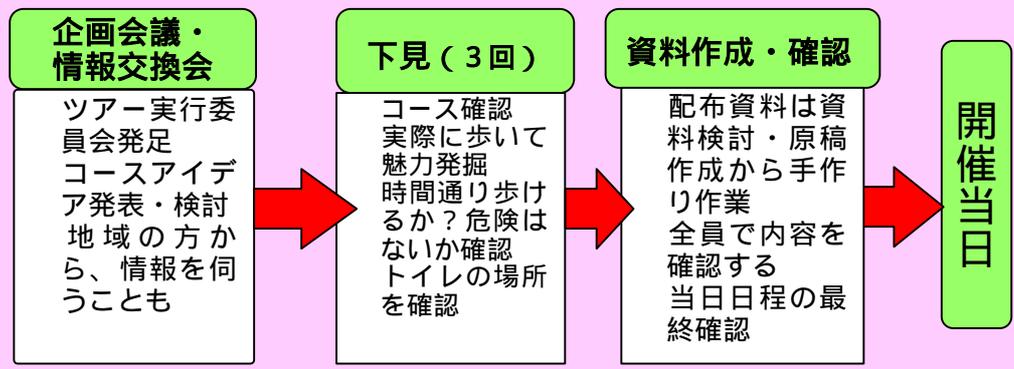
Q. エコミュージアムツアーって何？
歴史散歩や健康ウォーキングとどこが違うの？



A. スタッフの解説をヒントに、参加者自身が発見し、課題を見つけて「探索する旅」をする機会として開催しています。
市民の皆さんが手づくりで計画、準備をして、開催しています。

準備の流れ

みんなで手づくり！
**ツアー開催
までには...**



知ってナットク！
しろやま

**城山
検 定**

問 題

日本三大つるし飾りとして、静岡県東伊豆町稲取地区の雛のつるし飾り、福岡県柳川市のさげもん、山形県酒田市の傘福が知られています。さて、このつるし飾り、城山でも見ることができるでしょうか？

(出題者：田畑 房枝)



つるし飾りって何？
つるし飾りは、糸に人形などを吊るす伝統工芸の一種です。中には、つるし雛と呼ばれるものもあります。



手作りのつるし雛
(写真：城山公民館)



今までに開催したツアーとテーマ



回数	開催日	テーマ
1	平成 15 年 11 月 24 日	A コース: 谷津川めぐり B コース: 相模川の恵みと小倉の暮らし
2	平成 16 年 11 月 7 日	水の恵みを訪ねて
3	平成 16 年 11 月 23 日	400 年の歴史と記憶をたどる
4	平成 17 年 10 月 22 日	葉山島に学ぶふるさとの歴史と自然
5	平成 18 年 3 月 21 日	変わりゆく道と暮らしと自然
6	平成 18 年 10 月 8 日	城山町北部のロマンを求めて
7	平成 19 年 10 月 28 日	地域の歴史をさかのぼる、小倉橋周辺を歩く
8	平成 20 年 11 月 9 日	歩いて出会える昔と今 - 城山町久保沢、谷ヶ原～中沢を訪ねる -
9	平成 21 年 11 月 22 日	“水”の恵みを訪ねて 城山湖コース
10	平成 22 年 10 月 3 日	水と緑の“潤い”のまち・しろやま 地域の歴史・開発と共生
11	平成 24 年 2 月 26 日	『鎌倉みち起点から相模野台地を歩く ～村境に点在する謎のスポット～』
12	平成 24 年 10 月 14 日	歴史と自然のカンヅメ・城山 ～津久井城址(宝ヶ峰)を探索する～
13	平成 25 年 10 月 13 日	時をたどり、道をたどり、伝説の山へ ～龍籠山伝説と小松・城北を歩く～



各年度の詳しい内容は、本紙バックナンバーをご覧ください。

城山検定

解説



観音堂に飾られたつるし飾り

中沢地区にある普門寺の観音堂には地域の女性たちによって作られた見事なつるし飾りがあります。笠に赤い布をかけたものに色々な布で作った飾り物をひもにつなげて何本も下げてあります。猿ゴコ、三角(葉袋、香袋)、兔など、飾り物にはそれぞれ意味があり、子孫繁栄や子の幸せを願い一針一針に心を込めて縫っています。

普門寺では、卯歳の総開帳(武相三十三観音)の折に奉納され、12年間お堂を飾り次の卯歳観音の時に新しく奉納され、古いものは燃やすそうです。お寺のお話では、この風習は250年ぐらい前から続いているそうです。

地域の方たちは燃やす前に古いつるし飾りを手本に飾り物を作りますが、中沢自治会の文化祭につるし飾りを出展した八木寿子さんから作り方を教わった笹本繁子さん、八木喜久恵さんも平成23年(2011年)卯年の時に地域の方たちと一緒に作り普門寺に奉納でき大変楽しかったそうです。(田畑)

検定の答え：はい



城山探訪

卯歳の御開帳（普門寺の木造聖観音菩薩立像）



御開帳の様子（写真 小池久男氏撮影）

中沢地区にある普門寺には、市指定有形文化財（彫刻）に登録されている木造聖観音菩薩立像があります。この菩薩立像は平安時代の作品で、像高 105cm、観音堂内の安永 5（1776）年造の宮殿型厨子の中に祀られています。この観音像は、武相三十三観音霊場第二十五番札所に数えられ、12 年ごと卯歳に総開帳することから「卯歳観音」とも呼ばれています。4 月 14 日の例祭日と総開帳を除いては秘仏とされ拝する事はできません。最近では、平成 23 年の卯歳に開帳され、お堂の周囲には赤色の登り旗が立てられていました。ご覧になられた方もいらっしゃるのではないでしょうか。



昔の写真募集中!

ネガ・ポジOK



一緒に活動しませんか？

城山エコミュージアム運営委員会では、ツアーの企画・開催、地域の昔の写真、古道、自然、通信づくりなど、それぞれの興味にあわせて活動しています。高校生以上の方ならどなたでも参加可能！まずは見学してみませんか？

詳しくは下記まで。ご連絡をお待ちしています。



上段は桃の節句（ひなまつり）、下段は端午の節句（初節句）の記念写真。晴れの日のお写真ですね。このような記念写真も募集しています。ぜひ、お待ちしております。

昔

の
写真

ふり返る



桃の節句・端午の節句



編集
後記

川尻財産区の取材は茶話会形式で行われ、財産区の歴史や維持管理の話をご守さんからお伺いし、梅林や杉林を維持するのは大変なことだと思いました。（森久保 新一）

企画/作成：城山エコミュージアム運営委員会

発行：相模原市教育委員会生涯学習課城山教育班

問合せ：TEL：042-783-8184【直通】

FAX：042-782-1290

この通信のバックナンバーは、ホームページ（パソコン）からもダウンロードすることができます。携帯からも活動内容をご覧いただけます。



ご注意ください！

平成 26 年 4 月 1 日より事務局が変わります

問合せ：相模原市立城山公民館

TEL：042-783-8194【直通】

FAX：042-783-1721

ホームページのアドレスは変わりません。